自動運転車両等の走行支援技術に関する技術公募　質問と回答　20261106時点

No.	質問	回答
1	テーマⅠ・テーマⅡそれぞれ、伝送の技術のみで応募は可能か	テーマⅠにつきましては、道路状況を収集・分析する技術を対象としております。 テーマⅡにつきましては、路側設備や車両による道路状況の収集、収集した情報の分析、車両への情報提供の全てを含む提案であることが要件としております。
2	共同開発で伝送の技術を担う場合に応募は可能か	単独の事業者が全ての技術要素に対応できない場合は、複数の事業者による共同開発として応募することが可能です。
3	他の事業者の応募に、伝送部分を担う形で参画させて頂く可能性はあるか	他の事業者と共同開発で応募することは可能です。
4	【テーマⅠにおける費用の記載範囲について】 費用については、以下の考え方で記載すればよいでしょうか。 ・MFUを構成する多機能ポール、光ファイバセンシング、中央局等との費用比較ではなく、提案技術に必要となる費用を記載する。 ・設備費は、主に検知に必要な路側機器の費用を記載する。多機能ポールと同等に必要となるポール、施工費、中央側サーバ、データ管理・加工等の費用については、比較対象から除外する。 ・運用保守費は、レンズ清掃等、提案技術の検知性能を維持するために必要となる固有の費用を記載する。 また、MFU設備との比較を求める場合、比較対象とするMFU設備の構成や費用条件をご提示いただけるのでしょうか。	費用については、既存のMFUとの比較ではなく、設備費・施工費・データ管理や運用保守費等、貴社のご提案する機器構成に沿った費用を提示願います。
5	【テーマⅠの対象技術について】 応募テーマに「自動運転車両等の走行支援技術」とありますが、現時点では自動運転車両等への情報提供機能を備えていないものの、将来的な走行支援への活用が想定される検知技術も、テーマⅠの応募対象となりますでしょうか。	将来的な走行支援への活用が想定される検知技術も応募対象となります。
6	【霧の検知条件について】 霧の検知について、視程距離や濃度等の具体的な条件・基準がありましたらご教示ください。	霧の検知の視程距離や濃度等の具体的な条件・基準は定めておりません。
7	【テーマⅡの性能条件について】 テーマⅡで提案する検知技術については、テーマⅠに示されている検知距離や検出率等の条件は適用されず、提案時に同条件への適合性を説明する必要はないとの理解でよいでしょうか。	表１，表２に示している条件はテーマⅠに対する条件となります。

自動運転車両等の走行支援技術に関する技術公募　質問と回答　20261106時点

No.	質問	回答
8	【テーマⅡにおける実証車両の走行速度について】 テーマⅡの実証で使用する車両について、MFUでの走行時に想定される速度帯や、最低走行速度等の条件はありますでしょうか。 候補車両によって走行可能な速度が異なるため、車両選定の参考として確認させていただくものです。 また、低速走行のみ可能な自動運転車両についても、 実証方法や実証箇所を調整することにより、実証対象となり得るか、あわせてご教示ください。	MFUは高速自動車国道となりますので、周辺車両の安全に配慮し、道路交通法などの関係法令を遵守した計画としてください。 低速走行のみ可能な車両の場合、車線規制内での実証が想定されます。 交通管理者との協議等も要しますので、その前提で計画を提案願います。
9	【テーマⅠについて】 同一事業者が異なる複数の技術を、それぞれ独立した技術提案として応募することは可能でしょうか。 複数応募が可能な場合、参加表明書および技術提案書は、技術ごとに一式を作成して提出するとの理解でよいか、あわせてご教示ください。	異なる複数の技術を、独立した技術提案として応募することは可能です。 複数応募の場合、参加表明書・技術提案書は技術ごとに一式を作成して提出してください。